



臨床研修指定病院図書館 (室) の蔵書構築 —蔵書構築研究班1年目の報告—

佐藤 道子

I. はじめに

2004年に必修化された新医師臨床研修制度 (以下、新制度) は導入から3年経ち、2006年春には最初の研修修了者が誕生したこと、当協議会では加盟機関の8割以上が臨床研修病院の指定を受けていることから、蔵書構築研究班では病院図書館 (室) (以下、病院図書館) の蔵書をより充実させるという視点で新制度を調査しました。

病院図書館とかわりのある点を紹介し、次に臨床研修病院の指定を受けている会員図書館へ行ったアンケート調査の結果を報告します。参考情報として蔵書構築に関する文献や、インターネット上で図書館の購入情報を公開している機関のURLを挙げました。

II. 研究のきっかけ

病院図書館において図書館担当者は資料の選択にその専門性を発揮できているだろうか? という疑問が、研究を始めるきっかけとなりました。

病院図書館の資料は主に医学書や看護学書であり、資料の専門性を考えると図書館担当者が選書にかかわることはたやすいことではありません。しかし資料を知らないまま、リクエストされる資料だけを購入しては、必要な資料がそろっているかどうか図書館担当者自身が判断することは困難になります。

病院の規模や診療科目といった特性や利用者

層のニーズをつかみ、図書館担当者自らの力で選書を行い、適切な蔵書構築を実現するためには、その核となる基本図書館の整備と継続的な更新が課題であると考えました。

基本図書館の整備を検討するにあたり、基本図書館を必要とする研修医と新制度をひとつの判断基準としました。

III. 病院図書館をとりまく環境の変化^{1), 2), 3)}

1. 新制度について

新制度では、基本研修科目 [内科6ヵ月、外科および救急 (麻酔科を含む) 6ヵ月の3分野] と必修研修科目 [小児科、産婦人科、精神科、地域保健・医療 (それぞれ1ヵ月以上) の4分野]、これらに選択研修を加えて2年間をローテーション研修することになっています。

研修プログラムの概要を知ること、新制度の目標を理解でき、また自分の所属する病院の特徴も把握できて、資料選定時の参考になります。

2. 病院図書館とかわる部分

新制度が2004年に必修化されたことで、臨床研修病院指定基準を含む制度が見直され、厚生労働省の定める指定基準を備えることが原則になりました。その基準と、指定を受けている病院の図書館について知ることは、図書館に求められている役割を知ることになると考えました。

「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」厚生労働省が各都道府県知事にあてた文書の中で「『臨床研修の実施に関し、必要な施設及び設備を有して

いること』とは、臨床研修の実施に関し、必要な施設のほか、臨床研修に必要な図書または雑誌を有しており、また、原則として、インターネットが利用できる環境（Medline等の文献データベース、教育用コンテンツ等が利用できる環境）が整備されていることをいうものであること⁴⁾と記されています。

また「新医師臨床研修制度における指導ガイドライン」では図書室について「主要な医学雑誌・教科書は一通りそろえておくことが必要である。可能であればオンラインジャーナルを整備しておく、研修医は24時間どこからでも論文にアクセスできるので便利である³⁾と記されています。

いずれにおいても、病院図書館の機能が広義に解釈されていますが、図書館担当者の専門性を発揮して情報環境を整備していくことが望ましいと思われます。

3. 補助金制度について^{5), 6)}

新制度では、一学年平均研修医数ごとの「臨床研修費等補助金」の基準額が示されています。制度をよく知ることによって予算要求の理由づけもでき、補助金を図書館にも配分してもらえるよう働きかけることができると期待します。

IV. アンケート調査から

現状と問題点を把握するため、臨床研修病院の指定を受けた会員図書館を対象に郵送によるアンケート調査を行いました。

臨床研修施設に指定されたことにより、「利用が増えた」「環境が整備された」と8割をこえる図書館に何らかの変化がありました。図書予算の変化については何らかの増加があった館は43%と半数以下になっています。図書館担当者が医療界の情報を積極的に収集する必要を感じました。

また図書館担当者が選書にかかわる割合が3割にしか満たないこと、選書基準や選書ツールの項目では「なし」の回答がおよそ7割を占めているという現状から、わたしたちの研究テ-

マである蔵書構築ガイド作成は早急な課題であると考えます。

■アンケート調査結果

- 調査期間：2006年9月22日～10月14日
- 調査対象：近畿病院図書室協議会加盟館の臨床研修指定病院（施設）109施設
- 回収率：54.1%（59施設）
（図1-5）

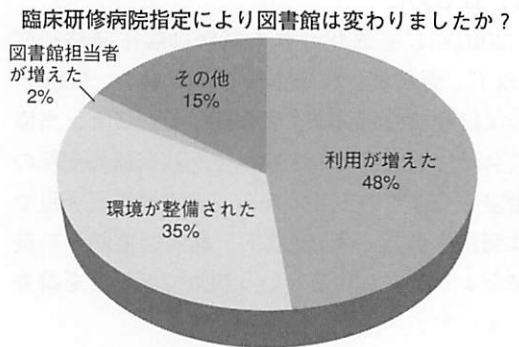


図1.

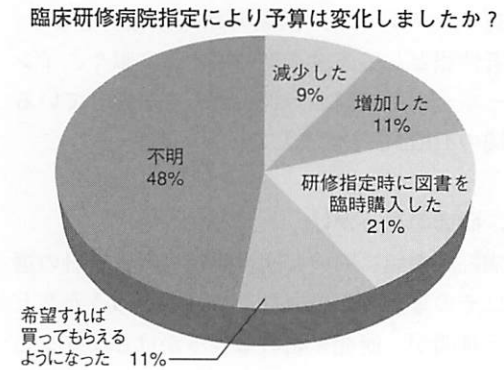


図2.

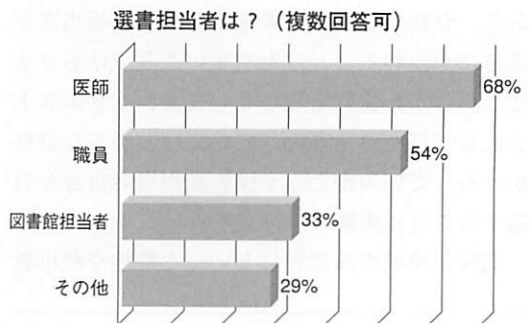


図3.

選書基準はありますか？

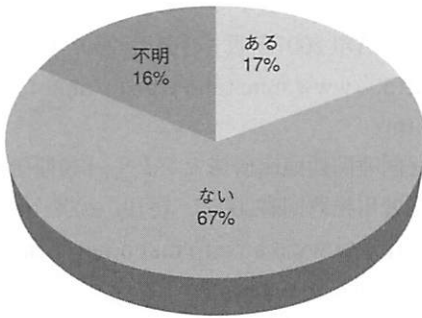


図 4.

参考している選書ツールはありますか？

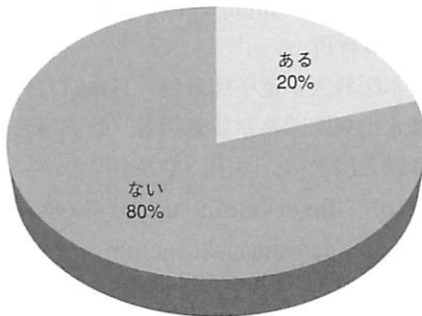


図 5.

V. まとめ

今回は1年目の報告として、新制度の概要と病院図書館にかかわる項目について確認をしました。こうした制度や助成金について図書館担当者が把握することで、病院図書館の運営に生かすことができるのではないかと考えています。

今後も研究を継続し、今回のアンケートで得た会員図書館の現状と、研修会後に寄せられた要望や質問を元に、まずは臨床研修必修7科目の基本図書について調査し、資料の選択や評価の実践を計画しています。

最終的には病院図書館のための蔵書構築ガイドを作成したいと考えています。皆様のご意見、また蔵書構築について興味のある方のご参加をお待ちしています。

参考文献

- 1) (財)医療研修推進財団－PMET－. [引用 2007-10-12].
<http://www.pmet.or.jp/>
- 2) 厚生労働省. 新たな医師臨床研修制度のホームページ. [引用 2007-10-12].
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/rinsyo/index.html>
- 3) 国立保健医療科学院. 新医師臨床研修制度における指導ガイドライン. [引用 2007-10-12].
<http://www.niph.go.jp/soshiki/jinzai/kenshu-gl/index.html>
- 4) 厚生労働省. 医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について. [引用 2007-10-12].
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/rinsyo/keii/030818/030818a.html>
- 5) 医療関係者養成確保対策費等補助金、医療関係者研修費等補助金及び臨床研修費等補助金交付要綱〈臨床研修費補助金（医師）部分抜粋〉. [引用 2007-10-12].
<http://www.reisjp.org/0051007-07.pdf>
- 6) 臨床研修プログラムサイト. 別表15 臨床研修費等補助金 7. 図書購入費. [引用 2007-10-12].
<http://www.reisjp.org/0051007-08.pdf>

参考情報

■図書館基本編

- 1) 河井洋志. 蔵書構成と図書選択. 東京：日本図書館協会；1992.
- 2) アメリカ図書館協会図書館蔵書・整理業務部会. ALA 蔵書の管理と構成のためのガイドブック. 東京：日本図書館協会；1995.

■医学図書館編

- 1) マーガレット・C・ハーディ, 関東地区医療情報ネットワーク化実行委員会 訳・編. 病院における医学図書館の選書：選書方針

と蔵書構築. 東京: 日本医学図書館協会関東地区医学図書館協議会病院図書室研究会; 1994.

- 2) Wakeley PJ, May RS. ヘルスサイエンス図書館員の基礎知識. 東京: 日外アソシエーツ; 1986.
- 3) ワシントン大学医学図書館編, 押田いく子訳. ワシントン大学医学図書館蔵書構築マニュアル. 東京: 日本医学図書館協会; 1996.

■推薦図書リスト

- 1) Frisse ME, Florance V: A library for internists IX. *Ann Intern Med.* 1997; 126 (10): 836-46.
- 2) Hill DR, Stickell HN: Brandon/Hill selected list of print books and journals in allied health. *J Med Libr Assoc.* 2003; 91 (1): 18-33.
- 3) 中安信夫. 精神科臨床のための必読100文献. (こころの臨床 à-la-carte 第22巻増刊号) 東京: 星和書店; 2003.

■図書購入の参考URL

- 1) 東邦大学医学メディアセンター「学習指定図書 A項 2007年版」. [引用 2007-10-12].
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/shitei.htm>
- 2) 民医連関西臨床研修センター「初期研修の学習用推薦図書2005」. [引用 2007-10-12].
<http://www.kansai-rinken.net/html/suisentosyo/index.html>
- 3) 新潟県立新潟がんセンター新潟病院「図書室 所蔵文献情報 新刊案内」. [引用 2007-10-12].
<http://www.niigata-cc.jp/Tosyo/Syozou.html#新刊>
- 4) 日本医科大学電子図書館「日本医科大学多摩永山病院図書室新着図書 (臨床研修整備費購入図書)」. [引用 2007-10-12].
<http://libserve.nms.ac.jp/shiryo/shinchaku/Nagayamagakusei.htm>